

● あきしま・街づくり市民会議・なかがみ「第11回芸能祭」開催

芸能部会主催の「第11回芸能祭」

日時・平成26年9月7日（日曜日）

午前10時30分～午後3時30分

場所・昭島市公民館小ホール



▲芸能部会の皆さん



▲北川穂一市長の挨拶



▲車いすダンス



▲カラオケ 船木義昭さん

阿木富美子さんの開催の言葉で幕をあげご多忙のところご来席された、北川昭島市長からもお祝いのご挨拶を頂き、地元市議会議員及び自治連第5・第6ブロック長及び自治会長さん方多数に参加して頂き、午前の部・午後の部とも、ほぼ満席となる盛会であった。

芸能祭の午前の部は、17演目が行われ、12時15分から25分間の休憩をとり、引き続き午後の部の22演目、計39演目が盛大な拍手の中で行われた。

演目の内容としては、①舞踊13件（18名）②カラオケ13件（14名）③車いすダンス2件（8名）④フラダンス1件（6名）⑤合唱1件（11名）⑥民謡4件（6名）⑦玉簾1件（8名）⑧マジック1件（3名）⑨ハーモニカ1件（2名）⑩琴1件（3名）⑪胡弓1件（2名）計39演目81名で盛大に行われた。



▲舞踊 原島順子さん



▲舞踊 陰山幸子さん

①舞踊は日々稽古の精進あつての本舞台とあつて、個人も団体も遊びがなく、流れの良い踊りで力強く、見応えがあつた。

②カラオケは、最初に昨年に引き続き船木義昭さんが、声量ゆたかに「峠越え」を歌われ、喝采を受けていた。「孫」を歌われた上原正夫さんは、この会では初出演で、日ごろ地元のカラオケ愛好会では休まず熱心に勉強されている。「瞼の母」を歌われた原茂静枝さんは、カラオケのまとめ役をされ、日頃から歌に親まれているとのこと。

③車いすダンスは、「マリーナ」と「ラ・ラ・ルー」を予定していたが、体調不良の欠場者になり、飯島裕子さんが代役を務め、「マリーナ」を「アマポーラ」に変更し、華やかに踊った。



▲舞踊 矢澤敦子さんほか4名



▲カラオケ 上原正夫さん



▲手品 鈴木一浩さん



▲舞踊 河村トミ子さん



▲民謡 桑原まち子さん



▲舞踊 庄司博子さん

④フラダンスは、「バリバリの浜辺」を6人が笑顔で踊られた。華やかなドレスが似合っていた。

⑤合唱は、芸能部員全員が、市民会議のそりのチョッキを身につけ、「ふるさと」「北国の春」「南国土佐をあとにして」の3曲を、会場の方々と一緒に合唱した。